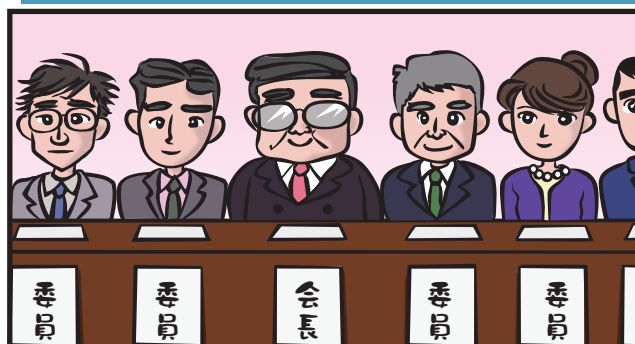
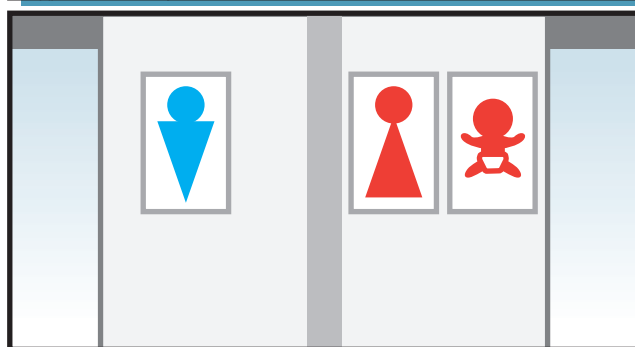


# これってジェンダー平等ですか？

地域・メディア編  
？

ある地域・メディアでのシーンです。  
ちょっとヘンだと思いませんか？



# これってジェンダー平等ですか？

## 地域・メディア編 解答例



### ■防災における男女平等

男性のみが、直接的な消火活動に従事し、女性は広報活動や炊き出しなどの役割を担っているケースを見聞きしますが、性別にとらわれることなく、共に訓練を実施し、時と場合によって、臨機応変に活動していくことが、男女共同参画社会につながります。また、このような対応は、災害時等に地域を守ることにもなります。

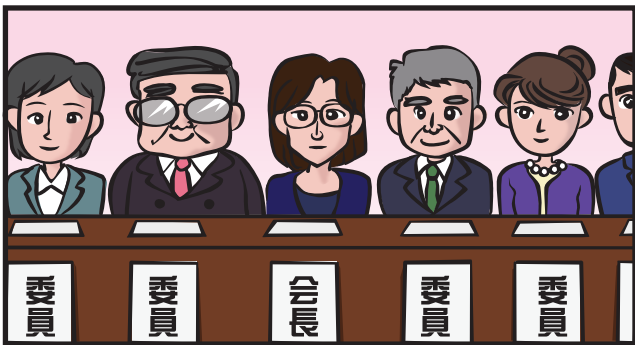
### ■トイレ問題

女性用と男性用に便宜的に分ける必要がある場合もあるでしょうが、その場合でも特に色分けする必要はないでしょう。また、女性用にだけ、子ども用やベビーベッドのマークがあると、女性だけが子育てをするべきであるというメッセージにつながってしまいます。さらに、実際に女性用にしかそれらの設備が設置されていない場合には、父親の育児が大変になってしまいます。双方のトイレにベビーベッドの設置をする必要もあるでしょう。また、「性別違和」の方が安心して利用するためにはどうすればいいかなど、たかがトイレ、されどトイレの問題は重要です。



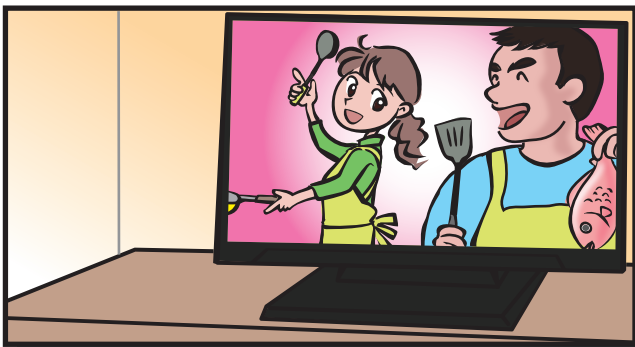
### ■地域の委員、議員の性別アンバランス

地域には、様々な委員会があります。その構成メンバーがどちらかの性に偏っているということはないでしょうか。地域を構成している割合がおおむね男女同数であるならば、委員の性別構成も半々ぐらいであるべきでしょう。メンバーは女性が多いのに、役職者が男性に偏っていませんか。リーダーシップの能力に性別による違いはありません。適材適所、性別に関係なく役員配置をすることが、地域の活性化にもつながるでしょう。



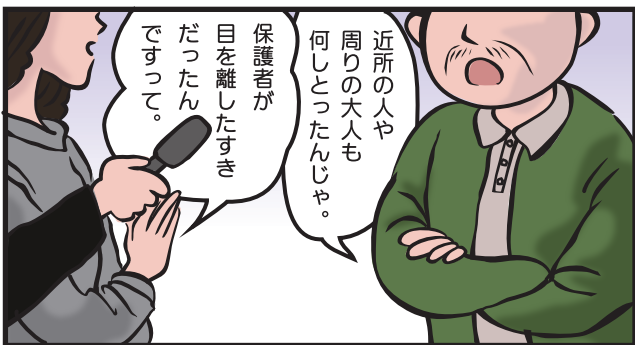
### ■コマーシャルは男女平等になったか？

1975年に「私作る人、僕食べる人」というインスタントラーメンのCMが問題になり、2か月ほどで放送中止になりました。1995年に北京で開かれた世界女性会議においては、「女性とメディア」がテーマとして取り上げられ、メディア表現のガイドライン作りなどの必要性が議論されました。北京会議から4半世紀以上経ちますが、CMは男女平等になったでしょうか。相変わらず、固定的な性別役割分担意識から抜け出せていないCMも多くあります。マスメディアの影響力はますます大きくなっています。それらを疑問視できるメディアリテラシーを高めていくことも必要でしょう。



### ■報道内容は、男女平等か？

小さい子どもの事故死や虐待等の事件で、まず問われるのは母親が何をしてきたかです。確かに母親の問題行動に原因がある場合もありますが、父親がしっかり育児に参加していれば防げたケースもあるでしょう。にも関わらずまず責められるのは母親だという報道姿勢は男女平等とは言えないでしょう。



近所の人や  
周りの大人も  
何しとったんじゃ。  
保護者が  
目を離したすぎ  
だったん  
ですって。

# これってジェンダー平等ですか？

## 地域・メディア編 解説

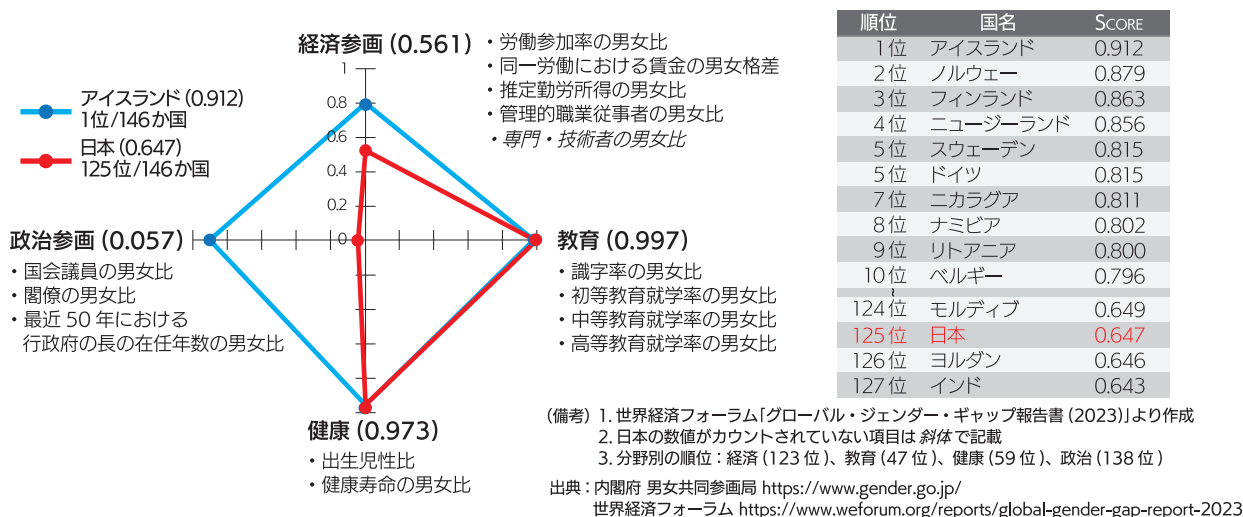
関連する法令やデータから、さらに解説します。

### 候補者均等法（政治分野における男女共同参画の推進に関する法律）

選挙における男女候補者の数が均等になることを目指して、2018年に施行された法律です。2021年には、改正法が成立し、候補者・議員への「性的な言動、妊娠または出産に関する言動などに起因する問題の発生」を防ぐため、政党や国、地方公共団体に対し、研修の実施や相談体制の整備などの施策をとることも明記されました。また、女性の政治参加をうながすため、政党と政治団体に対し、選挙の候補者の選考方法を改善することが盛り込まれました。しかし、これは努力義務であり、この法律改正により、飛躍的に女性議員が増えたという状況にはなっていません。より拘束力を強めるなどの、さらなる改正が議論されています。

### ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラム (WEF) が、男女格差の現状を各国のデータをもとに評価したものです。2023年版の「Global Gender Gap Report」(世界男女格差報告書)によると、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中125位です。分野別に見た場合、政治分野が138位です。衆議院の女性議員比率が1割にとどまり、過去に女性首相がひとりもいないことなどの結果、政治、経済、教育、健康の4分野の中でも、政治分野が最低の順位になっています。



### アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）

日常生活の中で、無意識のうちに、リーダーシップは男性がとるものなどの偏見を持っていないでしょうか。あるいは、子どもの面倒は母親がみるものといった思い込みはないでしょうか。それらの思い込みから自由になって、自分や地域や社会を見つめ直してみましょう。そうすれば、性別などにとらわれることのない自由な新しい未来が見えてくることでしょう。

### 演劇界のジェンダー平等

アメリカの演劇界では、ジェンダーによる区分をやめ、「主演俳優賞」「助演俳優賞」を二人ずつ選ぶところも出てきました。また、2023年のトニー賞のミュージカル部門では、ノンバイナリーの俳優二人が、史上初めて主演俳優賞と助演俳優賞を受賞しました。

### メディアにおける男女平等

子どもたちは、家族や地域の中で成長し、社会化されます。社会のあたりまえを身に付け、現在の規範を内面化していきます。現代社会においては、それだけではなく、それらに与えるメディアの影響も大変大きいものがあります。そのメディア報道では、男女平等参画が実現されているといえるのでしょうか。今なお残るコマーシャルにおける固定的な性別役割や、女性や性的少数者に対する差別的な言動が、メディアを通して流されています。テレビ・ラジオだけでなく、インターネットを通して様々な情報が提供されています。これらメディアが提供する報道内容を男女平等参画の視点から、批判的に読み解くために、メディア・リテラシーを高める必要があります。